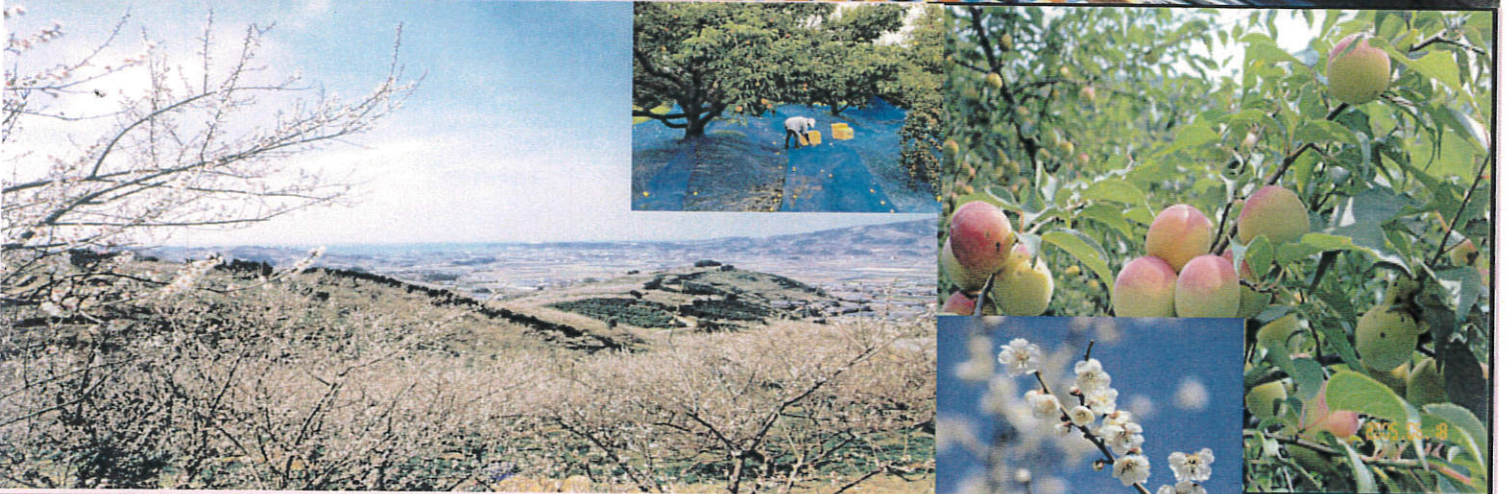




紀州南高梅



紀州産南高梅

明治35年、上南部村の高田貞楠氏が、梅の苗を譲り受けた中に、粒が大きく、美しい紅のついた優良種が一本あることに着眼し、その木を母樹として育成、増殖を行いました。その後、昭和25年から5年間、梅優良母樹調査選定委員会が調査研究を行い最優良品種と決定し、調査に協力した南部高校の愛称から南高と名付けられました。

手作業で収穫された完熟南高梅は一粒一粒天日干しされます。皮質が柔らかく果肉が豊富な梅干しに仕上がった梅干しを是非ご賞味下さいませ。

